



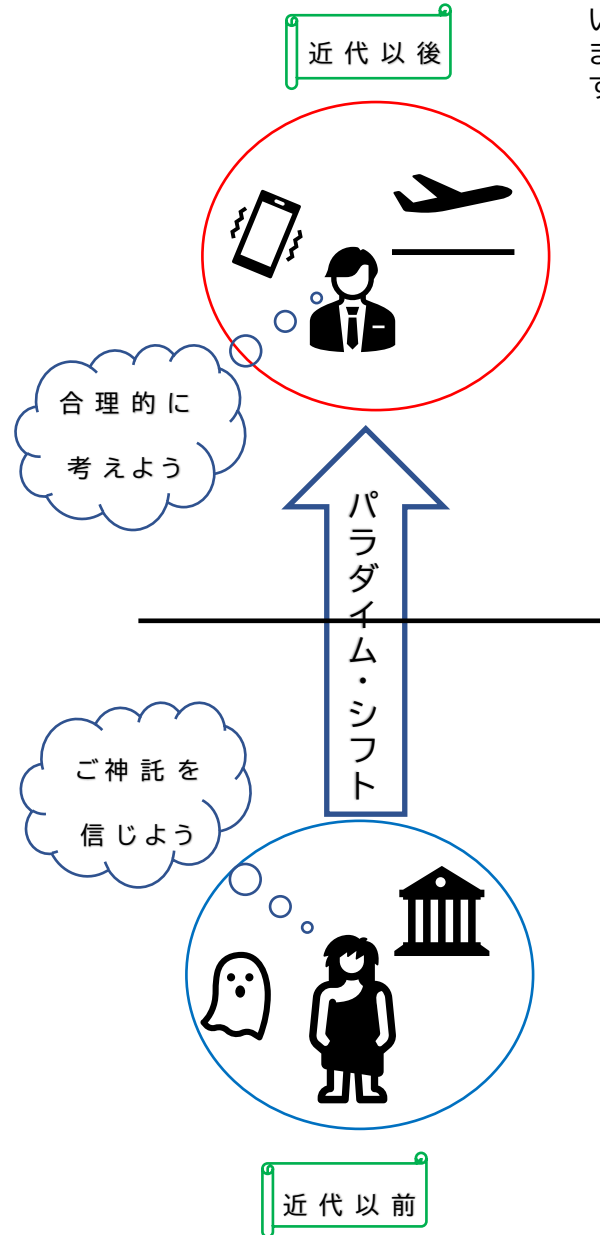
当サイトはこちらよりご覧になれます。

★科学論

— 科学の功罪を見つめる —

科学論は評論の重要テーマの一つです。科学の発展で私たちは多くの利益を手に入れました。しかし、手放して科学を賛美するのも危険です。なぜなら、科学によって私たちが失ったものもまた多いからです。科学論では、科学の功罪を見つめることがメインテーマになります。

現代の私たちは、実に合理的に生きています。幽霊やオカルトの類いを本気で信じるのは非合理であり、そもそも理屈で説明できないものを妄信するなど馬鹿げているとすら感じる人が多いようです。それは、とりもなおさず、近代以降に科学的思考が広まり、世界観（コスモロジー）が変化したからです。このように、認識・思考の枠組みが変わることをパラダイム・シフトと言います。



◎ 評論 キーワード

- ・ 合理的 .. 理に適うさま。
- ・ 非合理 .. 論理や道理に合わない。理性でとらえきれない。
- ・ コスモロジー .. 世界観・宇宙論。
- ・ 認識 .. 物事を見分け、判断すること。
- ・ パラダイム・シフト .. 思考の枠組みの変化。パラダイム・チェンジとも。

ところで、「科学的である」とはどのようなことをいうのでしょうか。その点を考えてみましょう。

まず、科学では個々の具体的な事物を扱います。それは形のない概念のような**形而上**のものではなく、実体を伴った**形而下**のものです。それらの観察・実験を通して、**普遍的**な法則を導き出します。これを**帰納**と言います。

科学では目の前の事実を対象にして、そこから、いつでもどこでも成り立つ法則を導くことが目指されます。そのためには、仮説を立て、その仮説が普遍的であることを**実証**する必要があります。

こうした科学的な態度は**客観的**な態度です。「○○かもしれない」という**主観**を仮説として立てることからスタートし、実験・観察の中で、その仮説が正しいか間違っているか調べるのです。**先入観**や思い込み(**ドクサ**)を出来る限り排するように努めなければなりません。



◎ 評論 キーワード

- ・ **形而上**.. 形をもっていないもの。 **形而下**は対義語。
- ・ **普遍的**.. 広く当てはまること。
- ・ **帰納**.. 個々の事実から普遍的な法則を導くこと。対義語は**演繹**。
- ・ **実証**.. 確かな証拠をもって証明すること。
- ・ **客観的**.. 誰が見ても納得できるさま。 **主観的**は対義語。
- ・ **先入観**.. 物事に対してあらかじめ抱いているイメージ。
- ・ **ドクサ**.. 思い込み。根拠のない主観的信念。

さて、合理的に物事を考える科学的思考を身につけた近代以降の人々は、科学の力で**テクノロジー**を生み出していきます。その恩恵は大変大きいものでした。現代だって、パソコンやスマートフォンは生活に欠かせないものになっていますよね。これらもテクノロジーの恩恵です。

こうなると人々は科学の力を崇拜するようになります。こうして**科学万能主義**の考えが広まります。近代は、科学技術の発展を歴史の進歩とする「**大きな物語**」と呼ばれる時代でもあったわけです。

しかし、科学の負の側面が顔をのぞかせ始めます。戦争です。科学技術は人々を殺戮^{さつりく}する兵器をも生み出してしまったのです。また、物質的な豊かさを手に入れるにつれ、精神的な豊かさが失われるという事態も引き起こしました。

人間は合理的な理性的側面だけでなく、**感性**も持ち合わせた生き物です。現代は、多様な価値観のもと、個々人の感性に基づいて生きていく「**小さな物語**」の時代なのです。

◎ 評論 キーワード

- ・ **テクノロジー**…科学技術。人間の持つ技術。
- ・ **科学万能主義**…科学を絶対善のものと考えること。
- ・ **大きな物語**…科学の発展を歴史の進歩とみなす近代を指す。リオタールの用語。
- ・ **感性**…感情や感覚の働き。対義語は「理性」。
- ・ **小さな物語**…多様な価値観のもと、個々人の感性に基づいて生きる現代を指す。リオタールの用語。

